

勘定奉行の



www.obc.co.jp

東証1部(4733)

株式
会社 **オービックビジネスコンサルタント**

2010年4月27日

**2010年3月期 決算および
2011年3月期 事業計画説明会**

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

I . 2010年3月期 決算の概要

II . 2011年3月期 事業計画と戦略

勘定奉行の



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO., LTD.

2010/3月期 決算の概況

売上高 前年同期比3.2%減

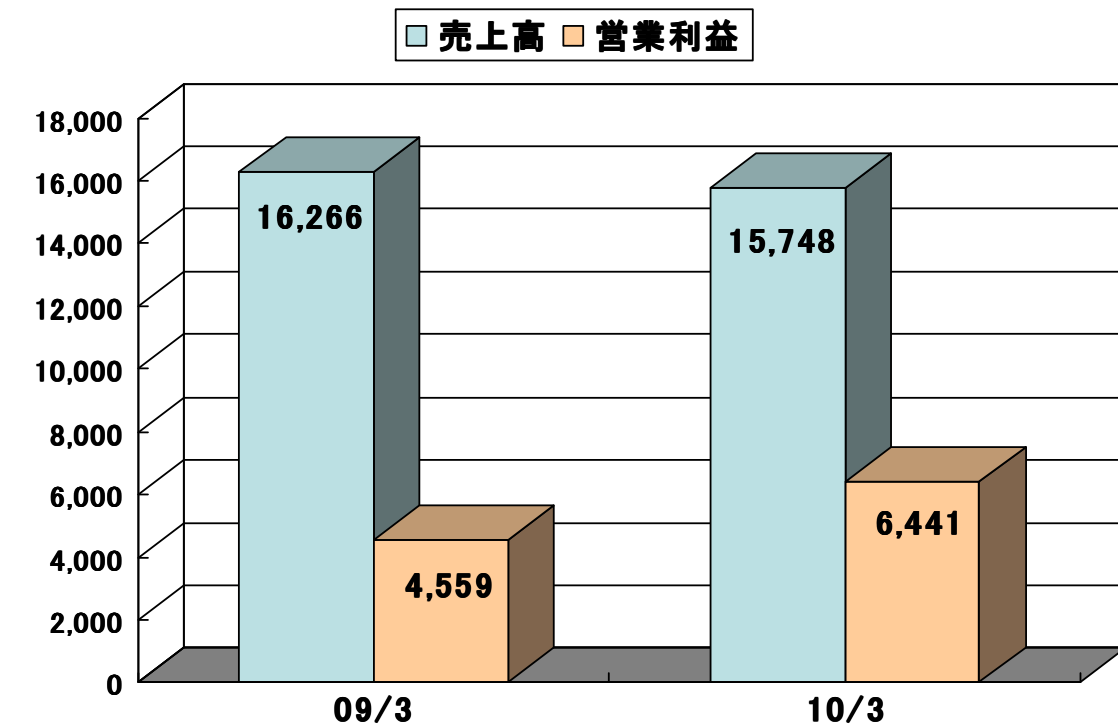
- ソリューションは前年同期比11.1%増加
- 関連製品は前年同期比17.1%減少
- サービスが前年同期比3.7%減少

営業利益 前年同期比41.3%増

- 【売上総利益】
売上原価における奉行連動ソリューションの仕入コスト及びカスタマイズ外注委託費が減少した結果、売上総利益は283百万円増加
- 【営業利益】
研究開発費に占めるオプション開発委託費及び広告宣伝費や営業関連コストの削減効果により、営業利益は1,883百万円増加

経常利益 前年同期比43.2%増

- 投資有価証券売却益により、経常利益は2,291百万円増加



2010/3月期 決算の概要

(単位:百万円)

	09/3期		10/3期	2010/3期		
		売上比(%)	予想		売上比(%)	前年同期比(%)
売上高	16,267	100.0	15,800	15,748	100.0	△3.2
売上総利益	12,852	79.0	13,100	13,135	83.4	2.2
販売管理費	8,294	51.0	7,600	6,694	42.5	△19.3
営業利益	4,558	28.0	5,500	6,441	40.9	41.3
営業外損益	748	4.6	600	1,156	7.3	54.5
経常利益	5,306	32.6	6,100	7,597	48.2	43.2
当期利益	2,609	16.0	3,600	4,343	27.6	66.5

部門別売上高

(単位:百万円)

	09/3期		10/3期	2010/3期		
		売上比(%)	予想		売上比(%)	前年同期比(%)
ソリューション	4,367	26.8	4,574	4,852	30.8	11.1
関連製品	4,200	25.8	3,690	3,483	22.1	△17.1
サービス	7,700	47.4	7,536	7,413	47.1	△3.7
合計	16,267	100.0	15,800	15,748	100.0	△3.2

ソリューション

- ①奉行21Ver.5及び奉行iへのバージョンアップ需要により、LANPACK製品及びStandalone製品のバージョンアップ売上が増加。
- ②奉行V ERPは778百万円の売上を計上(対前年比+15%)。
- ③オプションコンポーネントの売上は15百万円減少。

関連製品

- ①サプライ製品売上が177百万円減少。
- ②奉行連動製品売上が229百万円減少、カスタマイズ収入が296百万円減少。

サービス

- ①奉行保守契約料は105百万円減少。
- ②インストラクター指導料収入が111百万円減少、スクール事業収入が37百万円減少。

ソリューション別出荷数量(本数ベース)

(単位:本)

	09/3期		2010/3期		
		構成比(%)		構成比(%)	前年同期比(%)
奉行V ERP	890	4.0	1,044	4.0	17.3
新ERP	469	2.1	390	1.5	△16.8
LANPACK	2,853	13.0	3,658	13.9	28.2
Standalone	15,622	71.0	19,118	72.9	22.4
Jシステム	2,186	9.9	2,013	7.7	△7.9
合計	22,020	100.0	26,223	100.0	19.1

注) 出荷本数はバージョンアップを含む

- 【新ERP】……………奉行V ERPとの代替もあり前年同期比17%減少。
- 【LANPACK】……………新規本数は18%減少、バージョンアップ本数は63%増加。
- 【Standalone】……………新規本数は23%減少、バージョンアップ本数は56%増加。
- 【Jシステム】……………新規本数は26%減少、バージョンアップ本数は95%増加。

EBソリューション

◆都銀向けOEM製品

- 2010年2月末稼働本数： 41, 277本
- 2009年2月末稼働本数： 45, 008本

提供先	商品名	提供時期
UFJ銀行	U-LINE Xtra	1998年5月
東京三菱銀行	せるふバンク	2000年5月
三井住友銀行	パソコンバンク・ナビ・ジュニア	2000年9月
みずほ銀行	みずほ2000	2000年9月

◆地銀向けOFFICEBANK

- 当期出荷本数：884本(前年同期：858本)

販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円)

	09/3期		2010/3期		
		構成比(%)		構成比(%)	前年同期比(%)
売上高	16,267	100.0	15,748	100	△3.2
販売及び管理費	8,294	51.0	6,694	42.5	△19.3
販管人件費	2,027	12.5	1,984	12.6	△2.1
研究開発費	2,450	15.1	1,899	12.1	△22.5
広告宣伝費	619	3.8	539	3.4	△12.9
地代家賃	443	2.7	434	2.8	△2.0
減価償却費	129	0.4	95	0.6	△26.4
その他経費	2,626	16.5	1,743	11.1	△33.6

注) 1. 伸率は前年同期比増減率

2. 減価償却費は無形固定資産を含む

- 研究開発費: オプション開発委託費が528百万円減少。
- その他経費: 展示会費、旅費交通費、接待交際費、派遣人件費が主な削減項目。

貸借対照表－資産の部

(単位:百万円)

		09/3	10/3	増減
流動資産	現金預金	29,309	31,802	2,493
	受取手形	129	150	21
	売掛金	4,098	4,083	△ 15
	たな卸資産	156	177	21
	その他	726	512	△ 214
	貸倒引当金	△ 8	△ 17	△ 9
固定資産	有形固定資産	348	287	△ 61
	無形固定資産	210	176	△ 34
	投資その他の資産	31,160	35,558	4,398
資産合計		66,128	72,728	6,600

- ・投資有価証券の取得
11,079百万円
- ・投資有価証券の売却
△7,935百万円
- ・時価評価額の増加
1,963百万円
- ・繰延税金資産の減少
△518百万円
- ・その他
△191百万円

貸借対照表－負債・資本の部

(単位:百万円)

	09/3	10/3	増減
買掛金	292	216	△ 76
未払金	437	1,199	762
未払法人税等	553	2,414	1,861
前受収益	4,704	4,708	4
その他	553	597	44
退職給付引当金	602	648	46
負債合計	7,141	9,782	2,641
資本金	10,519	10,519	0
資本剰余金	18,949	18,949	0
利益剰余金	33,412	36,248	2,836
有価証券評価差額金	1,261	2,398	1,137
自己株式	△ 5,154	△ 5,168	△ 14
資本合計	58,987	62,946	3,959
負債・資本	66,128	72,728	6,600

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	09/3	10/3	主な増減理由	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,902	6,120	税引前利益	7,383
			投資有価証券売却益	△ 1,087
			投資有価証券売却損	527
			投資有価証券評価損	262
			投資事業組合運用損	590
			法人税等支払	△ 1,800
			その他	245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,243	△ 2,653	投資有価証券の取得	△ 11,079
			投資有価証券の売却	8,494
			関係会社貸付金	△ 220
			その他	152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,934	△ 1,520	配当金支払	△ 1,507
			その他	△ 13
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	15		
現金及び現金同等物の増加額	△ 6,247	1,962		
現金及び現金同等物期首残高	36,076	29,830		
現金及び現金同等物期末残高	29,829	31,792		

2011年3月期 事業計画

勘定奉行の



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO., LTD.

2011年3月期 計画の前提

売上高 前期比約7.5億円増の165億円

(百万円)	上期(計画)	下期(計画)	通期(計画)
ソリューション	2,400	2,900	5,300
関連製品	1,700	1,900	3,600
サービス	3,700	3,900	7,600
合計	7,800	8,700	16,500

営業利益 前期比約2.6億円増の67億円

- ◆ 売上総利益率は83%で横這いと想定。
- ◆ 販管費について、奉行iシリーズの広告宣伝費を始めとする営業プロモーションコストの増加を3億円見込む。

経常利益 前期比約4.5億円増の80.5億円

- ◆ 上場リートを中心とする金融商品の配当金収入を15.5億円見込む。
- ◆ 投資事業組合運用損等を2.0億円見込む。

通期の業績見通し

(単位:百万円)

	10/3期		2011/3期 計画			
		売上比(%)		売上比(%)	増減額	前年同期比(%)
売上高	15,748	100.0	16,500	100.0	752	4.8
売上総利益	13,135	83.4	13,700	83.0	565	4.3
販売管理費	6,694	42.5	7,000	42.4	306	4.6
営業利益	6,441	40.9	6,700	40.6	259	4.0
営業外損益	1,156	7.3	1,350	8.2	194	16.8
経常利益	7,597	48.2	8,050	48.8	453	6.0
当期利益	4,343	27.6	4,700	28.5	357	8.2

部門別売上高

(単位:百万円)

	10/3期		2011/3期 計画			
		売上比(%)		売上比(%)	増減額	前年同期比(%)
ソリューション	4,852	30.8	5,300	32.1	448	9.2
関連製品	3,483	22.1	3,600	21.8	117	3.4
サービス	7,413	47.1	7,600	46.1	187	2.5
合計	15,748	100.0	16,500	100.0	752	4.8

ソリューション

- ①奉行シリーズはVer.5、iシリーズ共にLANPACK製品及びStandalone製品のバージョンアップ需要が継続。
- ②奉行VシリーズはIFRS対応に伴う需要が今期以降発生。
- ③オプションコンポーネントの売上は、前期よりも新規案件の増加が見込まれることにより増加。

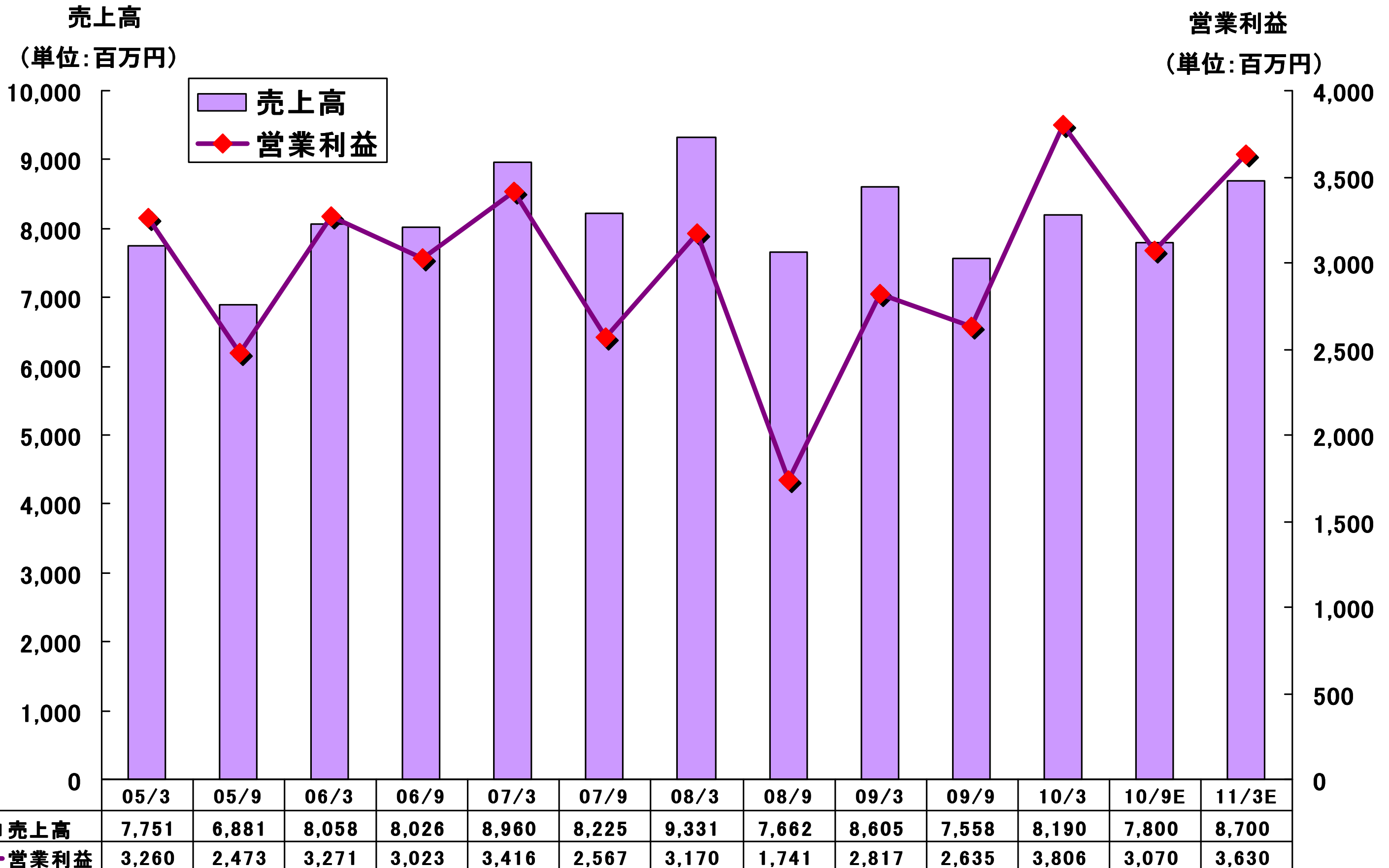
関連製品

- ①サプライ製品売上は、横這い。
- ②奉行連動製品は、前期よりも新規案件の増加が見込まれることにより増加。

サービス

- ①奉行保守契約料は、微増。
- ②インストラクター指導料収入は、奉行Vシリーズ、iシリーズの新規導入に伴い増加。

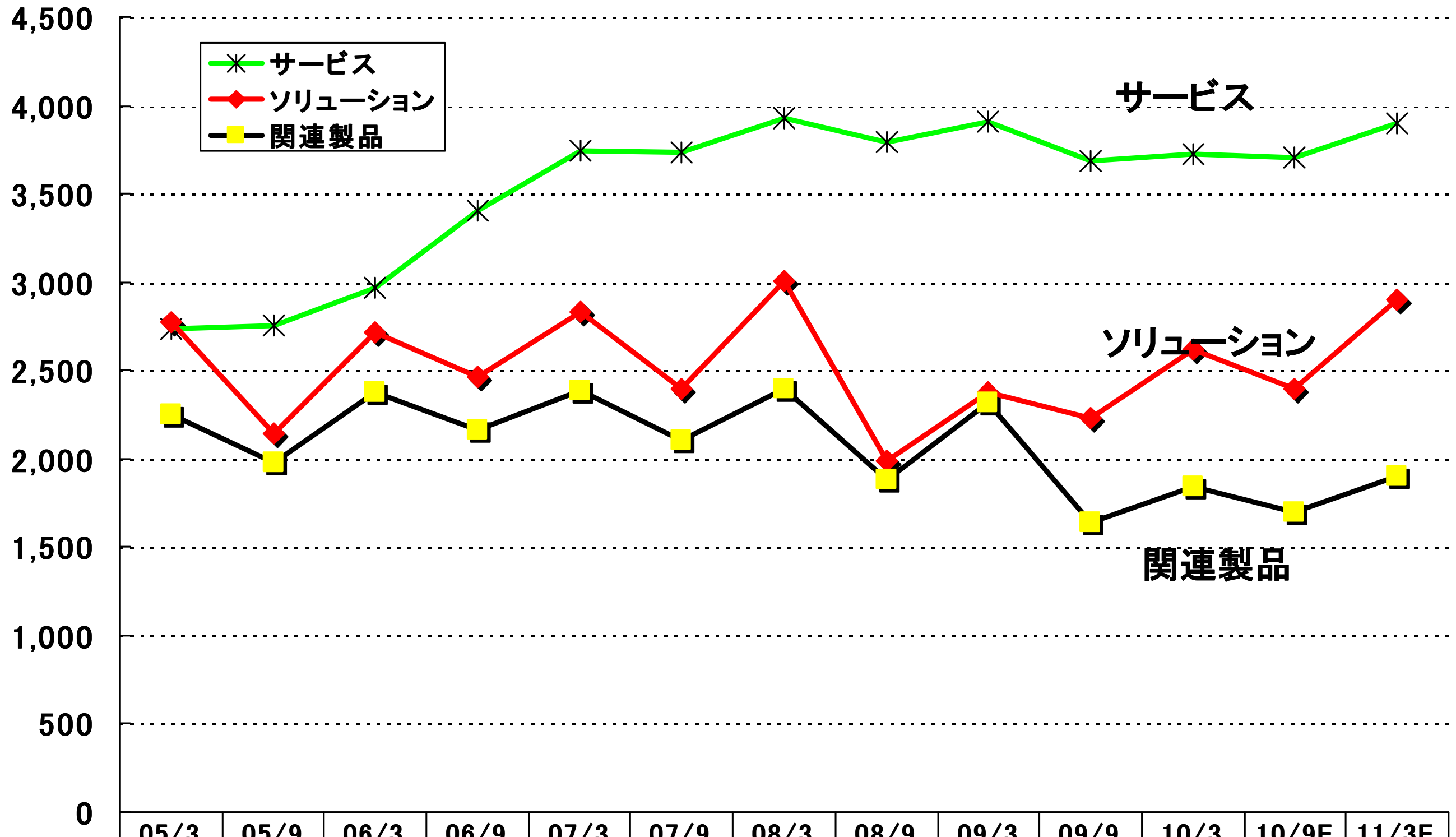
業績の推移(半期ベース)



← 予想 →

品目別売上高(半期ベース)

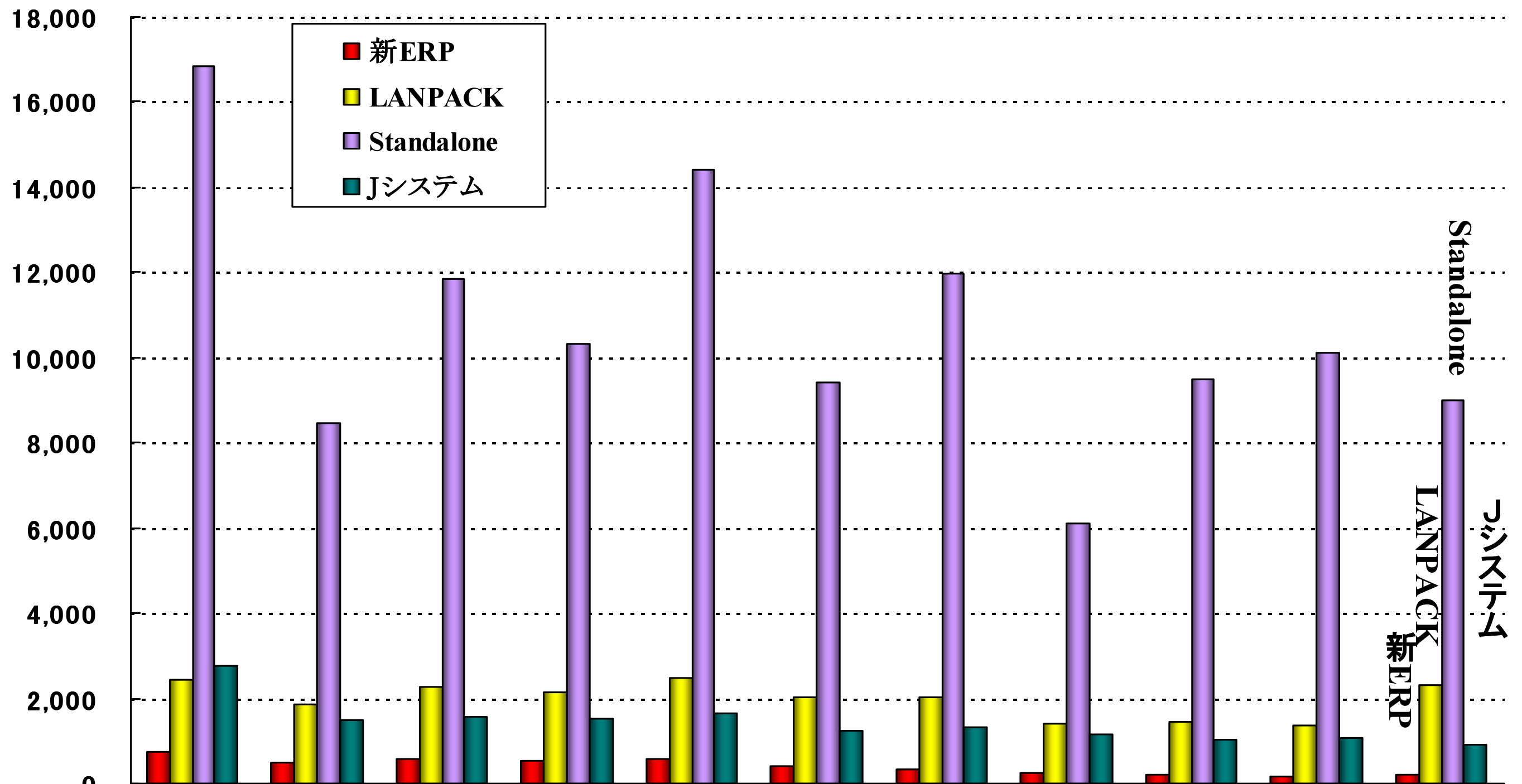
(単位:百万円)



← 予想 →

ソリューションの出荷数量(半期ベース)

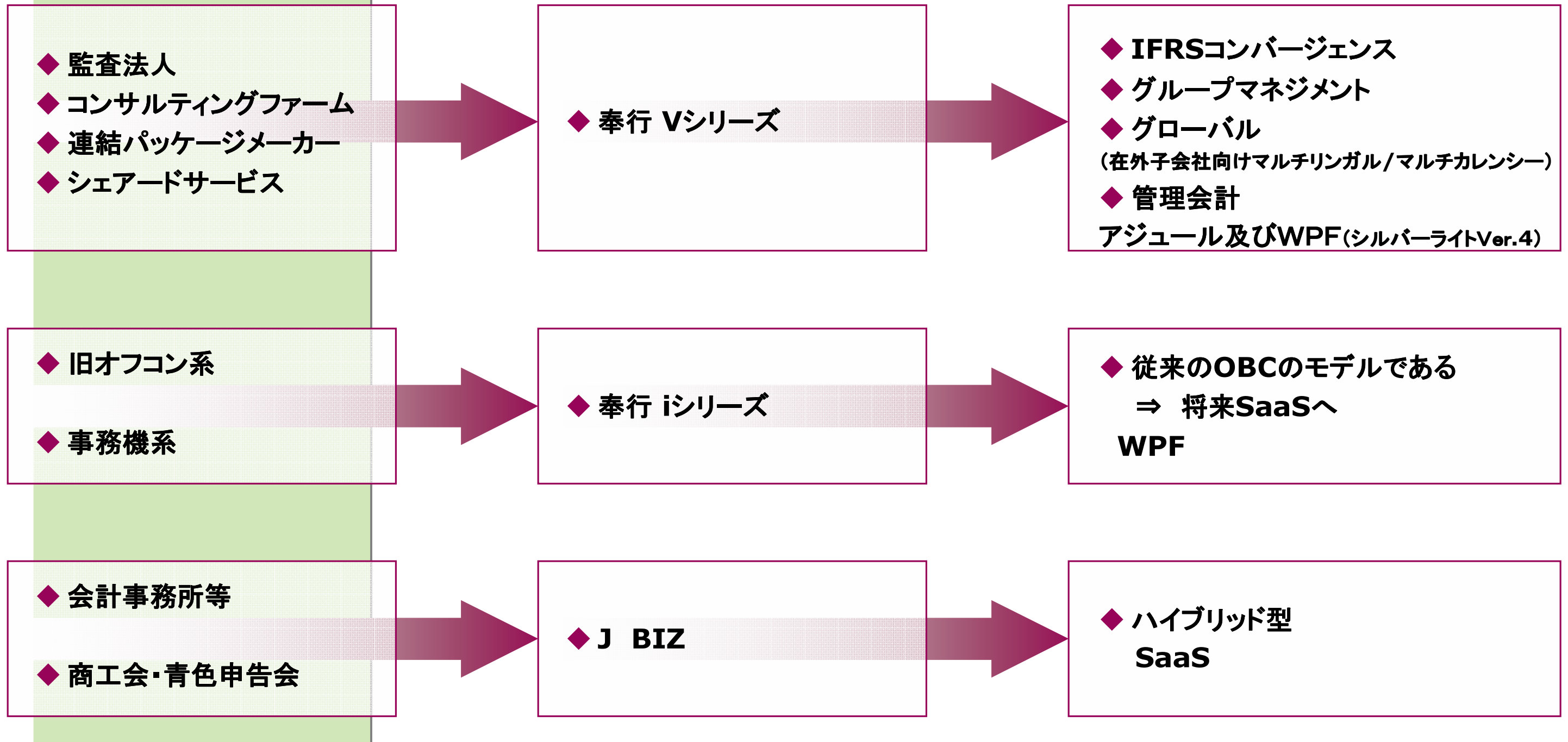
(単位:本)



	05/3	05/9	06/3	06/9	07/3	07/9	08/3	08/9	09/3	09/9	10/3
■ 新ERP	740	507	588	522	575	425	347	256	213	175	215
■ LANPACK	2,452	1,863	2,261	2,137	2,469	2,007	2,006	1,417	1,436	1,361	2,297
■ Standalone	16,837	8,449	11,855	10,339	14,421	9,393	11,977	6,115	9,507	10,119	8,999
■ Jシステム	2,765	1,472	1,566	1,521	1,635	1,238	1,314	1,148	1,038	1,090	923

OBCの製品戦略

パートナー様



※アジュール:クラウドで動作するMicrosoft社のOS

WPF:Windows Presentation Foundation

①クラウドコンピューティングへの対応

◆ 2010年度 クラウド元年

- マイクロソフトのアジュールおよびWPFのスタート(シルバーライト Ver.4)
- マーケティング手法を導入し、少しずつ変化を起こす
 - 奉行iメニューの成長(変化)
 - 奉行クリックの成長(変化)－CRSの強化
 - メンテナンス制度、補佐役の見直し
 - WPFへの戦略的スタート(次世代奉行)⇒多通貨対応、パフォーマンス向上

◆ 09/10～12月 第3ステージ Windows7の登場 奉行iシリーズの出荷

◆ 08/9～12月 第1ステージ

ネットを活用した新しいソフトウェア⇒ソフトウェア概念を変える第一歩

- アップデートサービス
- マイページ

08年

09年

2010年

◆ 09/4～6月 第2ステージ

SaaSはクラウドコンピューティングの大きなポイント

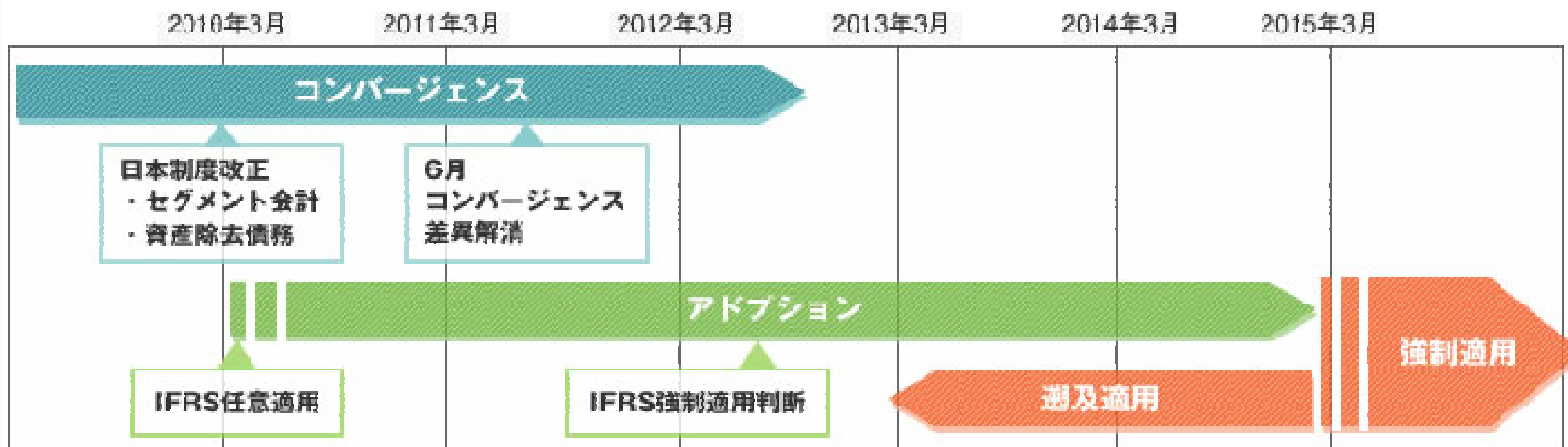
お客様に新たに選択して頂ける商品として提供することが可能かどうかテスト

(イノベーションであれば、全てが流れて行く)

- J-SaaS ⇒ 経済産業省の中小企業IT J-SaaSがスタートする
- 奉行クリック ⇒ 新しいマーケティングの世界を展開して行く

②OBCのIFRS対応ロードマップ

コンバーゼンス、移行期のシミュレーション、アドプシヨと3段階



奉行V ERPシリーズの対応スケジュール

▲コンバーゼンス対応

- ✓ セグメント情報
- ✓ 資産除去債務
- ✓ 会計方針の統一
- ✓ 過年度遡及修正 (会計方針の変更、誤謬修正)
- ✓ 財務諸表の表示 (包括利益、廃止事業)
- ✓ 無形資産 (研究開発費)
- ✓ 企業結合 (のれんの非償却、のれんの減損)

▲移行期シミュレーション (アドプシヨ項目の準備)

- ✓ 複数帳簿の対応
- ✓ 収益認識
- ✓ 財務諸表の表示 (区分変更、CF計算書など)
- ✓ 借入費用

▲アドプシヨ対応

- ✓ リース

以降、日本の会計基準の改正、及びIFRS強制適用判断に沿って、随時機能追加予定

奉行ログイン時<起動時>に最新情報などを把握できます

勘定奉行 [アカウント: AcAdmin]

OBCソフトウェア株式会社
期首日: 2008年 4月 1日 決算期: 6期

メインメニュー

- データ領域管理 ✓
- 導入処理
- 仕訳処理
- 会計帳票
- 消費税管理資料
- 決算処理
- セグメント管理
- 予算管理
- 分析処理
- 随時処理
- 自動実行管理
- セキュリティ管理
- 管理ツール
- 債権債務管理

奉行iメニュー ようこそ 鈴木 一郎 さん

製品登録番号: GLSZ11111C10S [ユーザー登録情報変更](#)

保守加入状況 保守加入状況

2008/12/31

保守有効期間が切れております。お申込みをお勧めします。

OBC保守契約 (OMSS)
OBCならではの「安心」と「快速」をご提供。奉行シリーズのサポートならOBC保守契約です。

[お申込み方法はこちら](#)

発送案内

未読情報が 3 件あります [▶ 発送案内一覧を見る](#)

オンラインサポート

未読情報が 3 件あります [▶ お問い合わせ一覧を見る](#)

[お問い合わせする](#)

サポート時事情報 [▶ 全件一覧を見る](#)

- [未読] ▶ 2009/05/07 勘定奉行21シリーズ(システムは除く)最新プログラム提供のご案内
- [未読] ▶ 2009/05/07 銀行支店辞書・郵便番号辞書・市町村辞書更新プログラム
- [未読] ▶ 2009/04/22 「外字エディタ」の操作方法 ダウンロード開始のご案内(OMSS会員様向け)
- ▶ 2009/04/15 「奉行EXPRESS 2009年春号」記載内容の訂正とお詫び(OMSS会員様向け)

保守会員様向けダウンロード情報 [▶ 全件一覧を見る](#)

- [未読] ▶ 2009/05/07 勘定科目履歴データ修復ツール(勘定奉行V ERP Single Edition)
- [未読] ▶ 2009/05/07 銀行支店辞書 更新プログラム(奉行V ERPシリーズ用)
- [未読] ▶ 2009/05/07 郵便番号辞書 更新プログラム(奉行V ERPシリーズ)
- ▶ 2009/05/07 奉行V ERPシリーズ 辞書一括更新プログラム

よくあるお問い合わせ (FAQ)

製品の操作・運用等に関するよくあるお問い合わせとその答えを検索できます。 [▶ よくあるお問い合わせ\(FAQ\)を見る](#)

最適なソリューションをお届けする製品サイト **奉行クリック**

サポート情報に加え、奉行サブライセミナーコンテンツが満載

発送物案内
オンラインサポート

サポート時事情報

ダウンロード特集

お問い合わせ<FAQ>

③中国戦略



OBCの中国戦略

- ◆ 子会社1社、関連会社3社で中国戦略のベース作り
 - ★ 上海欧比西晟峰軟件 (OBC99.4%出資)
 - ★ 上海索恩 (OBC40.4%出資) ⇒ 上海晟欧へ業務移管
 - ★ 上海晟峰軟件 (OBC40.4%出資) ⇒ 上海晟欧へ業務移管
 - ★ 新中大軟件 (上海欧比西晟峰軟件33.7%出資)
 - ★ 上海博科資訊股份 (OBC18.7%出資)
- ◆ 「Windows 7」対応の奉行シリーズ=多通貨、多言語に対応
- ◆ オプションコンポーネント
奉行V ERP用のオプションコンポーネント開発

上海における開発

- ◆ 奉行VERPのカスタマイズ開発
- ◆ 奉行VERP用のオプションコンポーネントの開発

中国の市場規模



800万社(2005年)

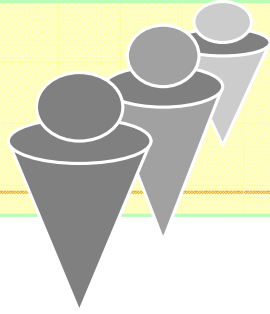
3,000万社(2010年)

30%程度へ

業務ソフトの導入率

10%

中国戦略



OBCの中国戦略

会社名	主な事業	主な役割や特徴
上海欧比西晟峰軟件	日本企業を顧客としたソフト開発受託	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 奉行VERPのブリッジSE部隊としての役割 ◆ 奉行VERP用のオプションコンポーネントの設計
上海晟欧軟件	日本向けのソフト開発	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 奉行VERPのカスタマイズ開発及び奉行VERP用のオプションコンポーネントの開発
新中大軟件	財務会計ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中国財務会計ソフト3位、12%シェア ◆ 省や県が使う公会計ソフトに強い ◆ 中国国内に48の販売拠点を持つ
上海博科資訊股份	物流・財務会計ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中国財務会計ソフト第7位 ◆ OBCの「次世代奉行シリーズ」と組み合わせることで、日系企業の経営効率を高めるソリューションを提供可能 ◆ 中国国内販売拠点30

M & A、アライアンス戦略

企業名	出資年月	出資比率	業務内容
フリービット(株)	2005年5月	2.5%	インターネットビジネス支援事業を展開しており、フリービット社と共同で、VPN接続を複雑な設定やソフトのインストールを行わずに実現する「OBCセキュアアクセスキー」を開発、販売。
ビズソフト(株)	2005年6月	49.0%	会計ソフト「弥生」の主力開発メンバーが設立。中小規模事業所向け業務ソフトを開発・販売。
(株)エムピー経営	2005年12月	9.6%	経営計画シミュレーションソフトウェア「MAP経営シミュレーションⅡ」を開発・販売。中小企業経営者の経営計画実践をサポート。
(株)ディーバ	2006年3月	4.7%	連結会計システム「Diva System」を開発・販売。大手上場企業を中心に、企業の情報開示や連結経営をサポート。
ユニオンソフト(株)	2006年4月	29.8%	当社の奉行シリーズと連動して使用する手形管理システム「手形の達人」や資金繰り管理システム「資金繰りの達人」を開発・販売。
(株)アフォード・ビジネス・コンサルティング	2006年7月	39.8%	(株)アタックス、(株)オレガとの合併。中堅・中小企業向け経営支援を目的とした診断・導入・運用と内部統制コンサルティングサービスを提供。
晟峰情報(株)	2007年10月	30%	上海晟峰軟件有限公司が、日本での営業拡大のため大阪に設立。資本金額50百万円。

本日はありがとうございました。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

www.obc.co.jp

勘定奉行の



OBC BUSINESS CONSULTANTS CO., LTD.